

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	自立支援・放デイ グランアミスター		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 9日		令和8年 2月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25名	(回答者数) 20名
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 9日		令和8年 2月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	将来を見据えた実践的な活動を取り入れ、生活力を高めることに重点をおいた、自立支援を行っています。	<ul style="list-style-type: none"> 調理、洗濯、掃除などの日常生活に直結する活動を実践形式で取り入れています。 買い物体験やお金の管理など、社会生活を想定した活動を定期的に実施しています。 スケジュール管理や役割分担を通して、主体的に行動する経験の機会を設けています。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの発達段階に応じた自立支援プログラムを整理し、段階的に生活スキルや社会スキルを身につけられる活動の充実を図ります。 買い物体験や金銭管理、時間管理など、将来の生活を見据えた実践的な活動の機会をさらに増やしていきます。
2	社会とのつながりを大切にした活動や地域イベントに積極的に参加しています。	<ul style="list-style-type: none"> 美化活動や環境整備など、役割を持って社会に関わる 宿泊活動やキャンプなど、共同生活を通して協力や思いやりの経験を積んでいます。 地域活動に参加し、社会の中で学ぶ機会を設けています。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域資源を活用した社会体験活動や地域イベントへの参加機会を拡げ、社会との関わりを通して学ぶ機会をさらに充実させていきます。 子どもたちが、地域の中で役割を持ち、社会参加への意識を高められる活動を検討していきます。
3	学校や家庭との連携を図り、子どもの情報共有をおこなうことで、不登校支援など、高学年ならではの問題への対応・支援を行っています。	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの気持ちに寄り添い、安心して過ごせる居場所(セカンドホーム)として、環境整備を行っています。 子どもが自分のペースで登校や社会参加へと繋がるよう支援を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校や関係機関との情報共有をより充実させ、子どもの状況に応じた支援体制の強化を図ります。 保護者との面談や情報共有の機会を大切にし、家庭と事業所が連携した支援の継続をしていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	対象児童が5年生から18歳と年齢層の幅が広いことから、発達支援時間を均一に確保することが難しいです。	年齢が高いことから、下校時間が遅く、十分な発達支援時間の確保が難しいです。	活動を短日に固定するのではなく、週で取り組み時間を設けることで、平等に活動参加ができるよう工夫しています。活動の参加/不参加の表を作成することで、児童の参加状況を確認し、偏りが無いよう継続的に取り組む必要があるため実践していく予定です。
2			
3			